

ラグビーW杯開幕が近づいてきた。山田町は会場の釜石市に近く、またキャンプ地である宮古市に隣接しており、近隣市町村ともども機運がみなぎっている。

私はW杯を単にスポーツイベントとして行うのではなく、岩手から国際協調のメッセージを発信する絶好の機会と捉えている。

日 報 論 壇

冷戦崩壊後の現代社会に至っても、世界各地では紛争や武力衝突が頻発し、尊厳が失われ、人権が侵害されている。これは他国

や他民族に対して、自らの価値観・尺度だけで判断し、相互理解の立場に立たないことによる。他国や他民族の苦難の歴史や、言語宗教等の文化、経済や政治の現状等を知る努力をすることが相互理解につながり、紛争を思いとどまらせ、平和な国際社会構築の一助になると考える。W杯はそういった精神を、特に若い世代に育む絶好のチャンスである。

ナミビアはドイツの保護を経た後、1945年の以降南アフリカの不法統治を受けた。統治下ではアパルトヘイト（人種隔離）が実施され、有色人種に対する迫害が続いた。90年に独立したが、貧富差を示すシロツパ系白人が人口の大多数を占めている。20世紀当初から高福祉政策を掲げ、それが世界に広まっていくことが期待される。「国際協力の歴史」が、世界70億人すべての人々の人権が守られ、健康で平和に生存できる世界を創造する」と、このようなメッセージを岩手から発信するようなW杯であってほしい。

W杯釜石大会に登場する4カ国には、「植民地支配の経緯」という共通点がある。W杯釜石大会に登場する4カ国には、「植民地支配の経緯」という共通点がある。W杯釜石大会に登場する4カ国には、「植民地支配の経緯」という共通点がある。

国際協調考えるW杯に

宮 学

W杯釜石大会に登場する4カ国には、「植民地支配の経緯」という共通点がある。W杯釜石大会に登場する4カ国には、「植民地支配の経緯」という共通点がある。W杯釜石大会に登場する4カ国には、「植民地支配の経緯」という共通点がある。